



大学間遠隔講義システムの概要と運用支援体制

森下 孟
信州大学

January 22, 2011 第3回FDフォーラム@高等教育コンソーシアム信州

1



目次

1. 高等教育コンソーシアム信州とは
2. 大学間遠隔講義システムの概要
 - ・ リアルタイム配信
 - ・ 自動収録・コンテンツ配信
3. 遠隔講義の運用支援体制

January 22, 2011 第3回FDフォーラム@高等教育コンソーシアム信州

2



高等教育コンソーシアム信州とは

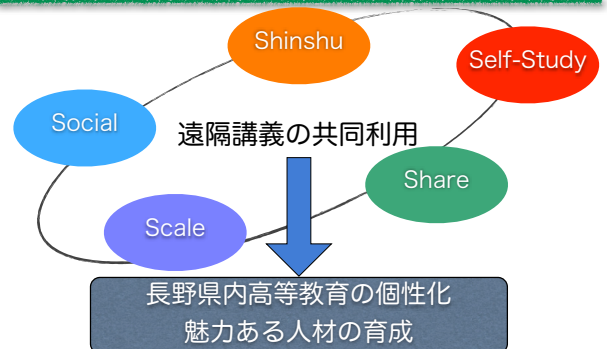


January 22, 2011 第3回FDフォーラム@高等教育コンソーシアム信州

3



S-Net



January 22, 2011 第3回FDフォーラム@高等教育コンソーシアム信州

4



取り組みの経緯



年月	取り組み
2008年 11月	高等教育コンソーシアム信州発足
2009年 3月	大学間遠隔講義システム完成
5月～	「K ³ 茶論」定例開催 (月1回)
9月	講義収録・配信システム導入
11月～	「県内合同就職説明会」開催
2010年 4月～	「大学間遠隔講義」開始

January 22, 2011 第3回FDフォーラム@高等教育コンソーシアム信州

5



過去の配信概要



- ・ K³茶論 (2009年度前期～) :
 - ・ 遠隔講義システムの接続試験, 利用促進
 - ・ 各大学持ち回り配信 (2年で18回実施)
 - ・ 公式Webサイトにて講演コンテンツを配信
- ・ 県内合同就職説明会 (2009年度後期～) :
 - ・ 2年で6回実施 (全19企業)
 - ・ 録画映像にて説明会コンテンツ (全22個) を配信
- ・ 大学間遠隔講義 (2010年度～) :
 - ・ 前期12科目, 後期12科目 計24科目を配信

January 22, 2011 第3回FDフォーラム@高等教育コンソーシアム信州

6

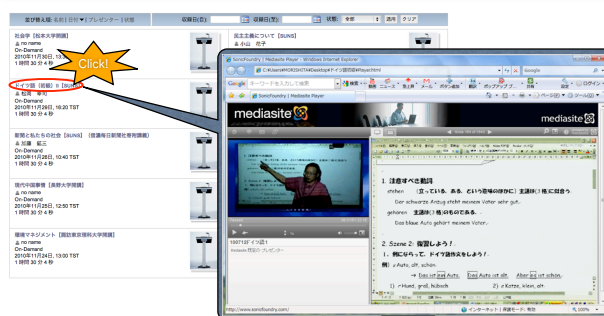
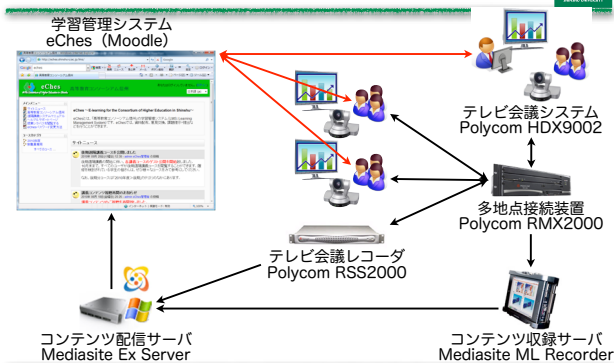
【前期】

- ・英語基礎Ⅰ
- ・英語基礎Ⅱ
- ・ドイツ語（初級）Ⅰ
- ・基礎自然科学（数理系）Ⅰ
- ・日本国憲法
- ・看護基礎理論
- ・物理学の世界
- ・発達・学校臨床の実際
- ・社会の中の個人として生きる
- ・国際看護学
- ・大学院生向け英作文
- ・電子出版と社会

【後期】

- ・哲学と政治
- ・民主主義について
- ・ドイツ語（初級）Ⅱ
- ・社会学
- ・医用生体工学
- ・機械システム工学通論
- ・環境マネジメント
- ・生態学B
- ・現代中国事情
- ・新聞と私たちの社会
- ・環境文学のすすめ
- ・大学院生向け英作文

1. リアルタイム配信
2. テレビ会議レコーダによる講義の収録・配信
 - ・ 学年歴・時間割の違いに対応した集合学習の実現
 - ・ トラブルによる受講不能時のバックアップ
3. 個人PCへのインターネットライブ配信
4. VOD形式の講義収録コンテンツの配信
 - ・ 学年歴・時間割の違いに対応した個別学習の実現
 - ・ 受講学生の復習教材



- ・ 専門職員（2名）を信州大学に配置
 - ・ うち1名は教育ICT支援職員，もう1名は専門技術職員
 - ・ 他大学ではICT支援教職員（兼任）が支援
- ・ 遠隔講義システムの整備は，

専門職員（信州大学）

&

ICT支援教職員（各大学）

 が担当

- ・ 通常時：
 - ・ 専門技術職員（1名）が全講義をモニター
- ・ トラブル発生時：
 - ・ 専門技術職員（信州大学）が，リモート操作にて各大学の障害機器を復旧
 - ・ ネットワーク接続できない場合，配信会場でビデオ録画し，後日コンテンツ化して受講生に配信



業者によるサポート



・テレビ会議システム

- ・ 株式会社映像センター
- ・ 日本ビクター株式会社

・コンテンツ収録・配信システム

- ・ メディアサイト株式会社



ご清聴いただきありがとうございました。